

件名:	地域防災拠点の強化に向けた「山口市スマートエネルギー活用事業」の実証開始について
担当課:	総合政策部スマートシティ推進室（電話:083-934-2728）

1 概要

本市では、地域防災拠点の強化を図る取組として、本市と「西日本電信電話株式会社山口支店」及び「NTTアノードエナジー株式会社」の3者で、昨年6月に、『山口市スマートエネルギー活用事業の共同検討に関する覚書』を締結し、NTTグループが有する技術やノウハウ、資金等を活用し、再生可能エネルギーとICT等の導入により、地域交流センターにおいて災害時の電力確保等の取組について検討を行ってきました。

NTTが、太陽光パネルや蓄電池等の設置に向けた現地調査等を進める中、昨年11月に、環境省の「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」の補助事業者に採択されることとなりました。

そうしたことから、平川地域交流センターと大歳地域交流センターの2拠点を対象施設として、NTTが自らの企業資金により太陽光パネル及び蓄電池等を設置し、災害による停電時においても蓄電池の電力を活用することで、地域交流センターの事務所機能や避難所機能の維持を図るとともに、平時におけるエネルギーの効率化などを検証する実証事業に取り組むこととしたところです。

こうした中、令和3年3月1日より実証事業を開始したことから、この度、お知らせするものです。



平川地域交流センター太陽光パネル設置状況

2 事業内容

(1)災害時(停電時)

蓄電池の電力を活用し、地域交流センターの事務所機能と避難所機能の維持を図ることで、パソコンや電話等による災害対策本部などとの連絡体制の確保や、避難所の照明や冷暖房等の確保、市民の皆様のスマートフォン等を充電するための電源確保などが、24時間程度可能となる。

(2) 平時

地域交流センターの電力の一部を、太陽光パネルで発電した電力を使うことで、環境にやさしい再生可能エネルギーの利用が可能となる。

3 今後の展開

災害時におけるNTTからの電気自動車等の派遣の検討、供給側と需要側のデータ連携による地域内での電力供給の最適化・効率化や地域内における電力融通などの研究を行い、防災とエネルギー分野におけるスマートシティの推進を図る。